

授業科目名・形態	社会福祉概論 I	講義	必修・選択の別	選択※	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操 ・ 板東 一仁		実務経験の有無	無	開講期	1 年前期

※看護学科必修

【授業の主題】

現代社会における社会福祉制度の目的や意義と理念などの歴史を通して学び、今日の社会福祉制度・政策の動向と課題について理解する。「社会福祉」と「福祉」の違いを学的に認識し、社会福祉の原理や哲学を理解し、社会福祉の歴史的・社会的な意義と目的、福祉政策を踏まえて福祉システムを理解する。社会福祉の理念や制度は憲法第 25 条の理念を基礎に具現化されてきたことを踏まえ、福祉政策としての社会福祉システムの今日的課題や課題について考える。また、医療・介護・就労・教育等生活者が抱える課題を把握するための方法と、社会福祉の共通の専門基礎知識と技術について学ぶ。この学びを通して社会福祉プロパーとして児童・子育て支援や高齢者・障害者の生活支援、介護・看護・教育場面などの様々な援助場面における課題解決が担える基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 社会福祉問題を正しく理解するために、社会福祉学固有の研究・認識方法を理解する。
2. 社会福祉の原理を巡る諸理論と社会福祉の哲学、価値論について理解する。
3. 具現化された社会福祉制度・政策の課題について理解する。社会福祉の理念や目的、具体的なサービスの供給と利用のシステムについて理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回	序章：社会福祉の原理・「原理」を学ぶ意義（中里）	
第 2 回	1 章① 日本の社会福祉の歴史	----- 慈善事業と感化救済感化救済、憲法と生活保護（板東）
第 3 回	② 欧米の社会福祉の歴史	----- 人権の歴史、救済の権利の歴史、権利保障と責務（板東）
第 4 回	2 章① 現代の社会問題①	----- 社会問題への視点（板東）
第 5 回	② 現代の社会問題②	----- グローバル時代の社会問題（板東）
第 6 回	③ 現代の社会問題③	----- 日本の社会問題（中里）
第 7 回	3 章① 社会福祉の思想と哲学①	----- 福祉の思想（石井十次、山室軍平、リッチモンド他）（中里）
第 8 回	② 社会福祉の思想と哲学②	----- 福祉の哲学（福祉の正義概念の公平性と平等性）（中里）
第 9 回	4 章① 社会福祉の理論①	----- 社会福祉学の視点（補充論・政策論）（中里）
第 10 回	② 社会福祉の理論②	----- 社会福祉学の視点（固有論・運動論・システム論）（中里）
第 11 回	③ 福祉国家の理論	----- ナショナルミニマム、福祉国家の 3 類型、福祉レジーム（中里）
第 12 回	④ 福祉政策の理論①	----- 福祉政策とは、資源の種類、選別主義と普遍主義（中里）
第 13 回	⑤ 福祉政策の理論②	----- 福祉サービスと市場、福祉多元主義と講師関係論（中里）
第 14 回	5 章① 福祉政策の機能①	----- 福祉政策の実施過程、政策決定（中里）
第 15 回	② 福祉政策の機能②	----- 政策の実施方法、政策評価（中里）

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

前回の講義内容を復習する。講義予定内容を読み、専門用語など解らないこと、疑問点などを整理しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、自分なりの理解と説明ができる状態で主体的に学習の準備をする。

【主な関連する科目】

社会学、公的扶助論、社会保障論、福祉行財政と福祉計画

【教科書等】

新・MINERVA 社会福祉士養成テキストブック『社会福祉の原理と政策』 ミネルヴァ書房

【参考文献】

適宜紹介する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 20%、提出レポート 30%、期末試験の成績 50%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

社会福祉に関する学びの基盤となる科目です。自分の生活に重ね合わせながら、地域社会の中で起きている社会福祉問題に関心を寄せてください。一つの小さな事象の奥にある、見えない要因を探ってください。講義は板書を中心に行うので、しっかりノートをとることが大事です。しっかり講義を聴きノートをとることによって教科書の行間のメッセージまで読み取れるように力をつけて下さい。